

第7号

発行日
令和3年
9月15日



◀葛畑区も養父市一斉避難訓練を実施。午前10時の訓練開始の合図とともに福祉連絡会と区役員、消防団が連携し全戸を訪問して避難を促しました。32世帯中53人の区民が、指定緊急避難場所へ避難しました（9月5日、葛畑区内）

福祉連絡会と社協をつなぐ情報紙 ねっとわ〜く（復刻版）

編集・発行:養父市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター

緊急事態宣言が続くなか、工夫して活動を継続

～日頃の訪問や見守りが災害時の支援にもつながる～

毎年3回開催している地区福祉委員会が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いています。地区福祉委員会ですすめている「福祉・防災マップ」の更新（要援護者の情報更新、新規登録など）の話し合いの場が持てずにいたため、今年度も区長を通じて各区の福祉連絡会で更新をすすめることになりました。

また、マップ作成だけでなく、コロナ禍における福祉活動についての話し合いなども行われました。社協職員も福祉連絡会に参加し、地域の実情を把握するとともに、コロナ禍での福祉活動について一緒に考えました。

今回は、養父市一斉避難訓練の取り組みや友愛訪問のほか、学校と民間企業が協力して取り組んだボランティア活動についても紹介します。

「コロナ禍を想定した避難訓練」（京口区）

9月5日、養父市一斉避難訓練が行なわれ、京口区では103世帯のうち72世帯160人が参加しました。

今年の訓練も昨年度同様、大雨を想定し新型コロナウイルス感染症に対応した避難訓練を実施。避難所の密集を避けること、区民の名前と家の再確認をすること、また7月の大雨で高齢者等避難指示が発令された際、誰も避難所には来ず、自宅に垂直避難していたなどの経緯から、区民には事前に10時の告知放送を合図に各自宅玄関前に出てもらうよう伝えて行いました。

当日は、区役員（消防団員含む）と民生委員・児童委員の17人が午前9時に京口会館に集まり、避難本部を立ち上げ、訪問先を確認。告知放送を合図に、まず組長に組の世帯数を確認し、安否確認に回りました。訪問先では「今日、家に誰がいますか」と自宅避難者の人数を確認。訪問先の区民から「告知放送後、携帯のエリアメールが届かんかったけど、実際の災害時は大丈夫やろか」などの声も出ていました。

松田満区長は「事前周知の指示に従って区民のみなさんが玄関前で待っていてくれたので、スムーズに確認ができましたが、班分けの確認不足など反省点もあったので、実際の災害時には気をつけたいです」と話していました。



▲組長に訪問先の世帯を確認し、安否確認のため各世帯を訪問しました（京口区内）

「コロナ禍、手作り作品で夏祭りの雰囲気！」

（養父中学校ボランティア部×道の駅但馬楽座）

養父中学校ボランティア部は、近隣にある高齢者施設を定期的に訪問し、手作り作品などで壁面の飾り付けを行っています。しかし、コロナ禍では高齢者施設訪問は難しく、ここ1年半は活動を控える状況が続いていました。

そのようななか、ボランティア部の活動の場が減っていることを聞いた道の駅但馬楽座の三田文雄支配人が、施設内のコンビニエンスストアの一角を開放し作品展示を行うことを提案。8月30日、ボランティア部員と道の駅のスタッフが協力し飾り付けをしました。

壁一面に色とりどりの折り紙の花火を展示し、リンゴ飴やお面飾り、金魚すくいなどの屋台を並べました。また、浴衣姿をあしらった手作り案内板を各所に貼り付けました。

部員の中平あいかさん（1年生）は「自分たちも楽しみながら創りました。夏祭りが中止になるなか、見た人が楽しい雰囲気を感じてもらえたら嬉しい」、三田支配人は「養父中学校ボランティア部のみなさんには、今回の活動のほかに、道の駅記念切符に掲載するロゴマークも作成してもらっています。我々も、地域の人たちの心に寄り添った活動を行うことが使命です。一緒に少しでも地域が盛り上げられれば」と話していました。



▲飾り付けをするボランティア部の生徒
（道の駅但馬デイリーヤマザキ店内）

展示は8月30日から9月23日まで行っています。
ぜひ、ご覧ください。

「福祉連絡会で全戸を友愛訪問」（向三宅区）



▲近況を聞きました（向三宅区内）

向三宅区は、今年度の取り組みとして、ふれあい喫茶を月1回の開催で予定していましたが、緊急事態宣言で自粛が続いています。このような状況下、福祉連絡会で話し合いをして、友愛訪問を実施することになりました。

8月22日には、福祉連絡会のメンバーが全20戸へ訪問し体調のことや近況などについてたずねました。

区長の井上隆夫さんは「集うことができませんが、訪問すると色々とお話もでき、悩みなども聞くことができました。ひとり暮らしの高齢者は、集う場がなければ話す機会も少なくなるので、今後も定期的に続けていきたいです」と話していました。

【編集後記】 『ねっとわーく』では、これからも、地域のちょっといい話、笑顔になるエピソード、みんなで協力して取り組んだ活動などを情報発信していきます。ぜひ、いろいろな情報をお寄せください。

だれもが つながり ささえあう いのち輝く まちづくり ～オール養父市で未来へ～
社会福祉法人養父市社会福祉協議会

〒667-0022 養父市八鹿町下網場 320 地域交流センター「福祉の杜」



Web サイト:

<http://www.yabu-shakyo.jp/>



連絡先:

079-662-0160



メール アドレス:

info@yabu-shakyo.jp